

基礎① 活用・助詞

活用形を見分ける

問1 下線部の活用形を答えなさい。

「毎朝新聞を読みます。」の「読み」の活用形を答えなさい。

答え：連用形

補足：「読み」の後ろに丁寧の助動詞「ます」が続いています。

問2 下線部の活用形を答えなさい。

「この道を歩けば駅に着く。」の「歩け」の活用形を答えなさい。

答え：仮定形

補足：「ば」が続く形は仮定形です。

問3 下線部の活用形を答えなさい。

「早く起きろ。」の「起きろ」の活用形を答えなさい。

答え：命令形

補足：相手に命令する形なので命令形です。

活用の種類を見分ける

問4 正しいものの記号を○で囲みなさい。

動詞「見る」の活用の種類を選びなさい。

ア 五段活用 **イ** 上一段活用 **ウ** 下一段活用

答え：イ

補足：「見る」は上一段活用の動詞です。

問5 正しいものの記号を○で囲みなさい。

動詞「食べる」の活用の種類を選びなさい。

ア 五段活用 **イ** 上一段活用 **ウ** 下一段活用

答え：ウ

補足：「食べる」は下一段活用の動詞です。

助詞を分類する

問6 下線部の助詞の種類を答えなさい。

「弟が庭で遊んでいる。」の「が」は何助詞ですか。

答え：格助詞

補足：「が」は主語などを示す格助詞です。

問7 下線部の助詞の種類を答えなさい。

「雨が降ったけれど試合は行われた。」の「けれど」は何助詞ですか。

答え：接続助詞

補足：「けれど」は前後の内容をつなぐ接続助詞です。

助詞の働きを考える

問8 正しいものの記号を○で囲みなさい。

「今日は私だけが残った。」の「だけ」の働きとして最も適切なものを選びなさい。

ア 対象を限定する **イ** 疑問を表す **ウ** 文と文を逆接でつなぐ

答え：ア

補足：副助詞「だけ」は範囲や対象を限定する働きをします。